

一般質問を通じた、新年度の実績紹介です

- ◆ふれあい家族住居購入奨励事業・定住策として
平成28年6月議会で要望
- ◆母子保健事業・新生児聴覚スクリーニング検査
令和元年12月議会で要望
- ◆犯罪抑止対策・通学路に街頭防犯カメラ
13箇所・13台設置予定
平成27年9月議会で要望
- ◆小学校特別教室にエアコン整備事業
平成26年6月議会で要望
- ◆小学校・校舎トイレ改修事業
令和元年・平成21年9月議会で要望
- ◆クレジット収納・ペイジー収納
平成17年12月・21年6月議会で要望
- ◆高齢者認知症対策・QRコードの活用
平成28年6月議会で要望
- ◆治水河川事業・100mm/h安心プランに基づく
河川等の整備・浸水対策として
平成27年12月・29年6月議会等で要望
- ◆プレミアム付電子食事券発行事業
プレミアム率50%の電子マネー食事券
平成19年6月～令和2年6月議会で要望

公明党では無料の法律相談を行っております
お申し込み、その他、ご相談・ご要望は

くりばら

まで

電話は 090-3476-6526



小さな声を、聴く力。公明党

春日部市議会議員くりばら信司



くりばら通信



党员、支持者の皆さまには、常日頃より公明党へのご理解とご支援を頂き、誠にありがとうございます。

コロナ禍で何かと暗いご時世ではありますが、緊急事態宣言も解除されたり、東京五輪の成功へ向けて聖火ランナーも走り出すなど、明るい兆しも見えてきました。ここは踏ん張り時です。感染拡大防止に注意しながらも、皆様と心を合わせて明るい未来を作り上げていきたいと思っています。

今後とも変わらぬご支援を宜しくお願いします。

令和3年度定例議会での一般質問より。

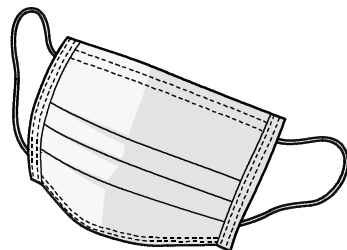
1

マスクの着用に関して

新型コロナの感染拡大防止へマスクの着用は必須です。そこで、

①マスクの正しい着用方法について②アレルギー、持病などによりマスクが着用出来ない市民への対策について。市として独自の表示マークを市民・中高生などに考えて貰うことで市民意識の啓発を図るべき。③使用済みマスクの廃棄方法について。使い捨てマスクの原材料となるポリプロピレンなどのプラスチックは分解におよそ450年かかると言われており、野生生物や生態系に悪影響を及ぼすことにもなる事から、マスクの正しい廃棄の仕方、また市民への周知について市の対応を求めました。

答弁：広報誌、安心安全メールなどを通じて、状況の変化に合わせた注意喚起につぎまして、情報発信に努めていきます。



2

行政のデジタル化・情報格差対策について

スマホなどの電子器機はご高齢になるにつけ苦手意識が強くなります。そこで、これらの方々に対して

①スマホ教室の開催 ②スマホの無償貸し出し ③オンライン会議の参加・各種電子申請・オンライン申請・マイナポータルの使い方・オンライン診療や予約の仕方を相談出来る窓口設置 ④国がデジタル庁を設置するタイミングに合わせ、仮称・デジタル推進室などの設置が必要ではと訴えました。

答弁：デジタル以外の手続きの併用も活用しながら、情報格差の解消へ向け、きめ細やかな市民サービスの展開に取り組んで参ります。



3

グリーンインフラの活用について

グリーンインフラとは、自然が持つ機能を社会資本整備に活かし、防災・減災につなげる取り組みです。春日部市としても今までにも同様の取り組みは行っては来ましたが、今後は、総合的にはコスト面などを考慮し、グリーンインフラとグレーインフラのバランスを図り、取り組みべきでは、と訴えました。また、具体的な今後の取り組み例として、本庁舎移設後に整備予定の仮称・新中央町第一公園において、グリーンインフラの理念に基づく整備を実施することで市民にグリーンイン

フラ事業を認識して貰い、結論的に官民一体となる社会資本整備を進めるべきでは、と訴えました。

答弁：防災減災的な考えのもと本市のシンボルとなるような公園を考えてます。救援活動や復旧活動を支援する避難地としての機能を備えた公園整備を行っていきます。

